



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 サンワテクノス株式会社 上場取引所 東
コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）松尾 晶広
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 管理本部長 （氏名）的場 孝成 TEL 03-5202-4011
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	69,380	△0.1	1,464	△11.2	1,768	5.2	1,207	△5.1
2025年3月期中間期	69,426	△21.9	1,650	△52.1	1,681	△54.6	1,271	△58.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 46百万円（△97.9％） 2025年3月期中間期 2,230百万円（△38.3％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	79.42	—
2025年3月期中間期	83.97	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	93,553	48,486	51.5
2025年3月期	93,078	49,112	52.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 48,203百万円 2025年3月期 49,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2026年3月期	—	60.00			
2026年3月期（予想）			—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	11.0	3,500	△0.2	3,760	△1.5	2,610	6.8	171.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社エムテック及び株式会社アレックスエンジニアリング

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	16,044,000株	2025年3月期	16,044,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	818,764株	2025年3月期	864,164株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	15,202,536株	2025年3月期中間期	15,145,738株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算発表補足資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、当社は2025年11月11日 (火) にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布決算資料につきましては、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等に関する注記)	10
3. 補足情報	12
(1) 仕入、受注及び販売の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、観光関連需要やサービス消費が堅調に推移している一方、物価高や円安により個人消費などを圧迫し、景気全体としては先行き不透明な状況が続いております。世界経済においては、米国の関税政策を巡る不透明感や地政学的リスクの継続などにより、先行きの成長見通しに懸念を生じさせております。他方で、AIの急速な普及や脱炭素化に向けたエネルギー関連投資といった構造的な変化が各業界に新たな成長機会をもたらしており、企業には環境変化への柔軟な対応力が一層求められております。

当社グループが関連する産業用エレクトロニクス・メカトロニクス分野におきましても、市況低迷による設備投資の減少や手配調整が続いておりましたが、業界により濃淡があるものの需要に回復が見られました。また、人手不足対策や省人化を目的とする設備投資、次世代技術への移行に伴う需要は今後も拡大が続くことが期待されます。

このような環境の中で当中間連結会計期間の業績は、売上高693億80百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益14億64百万円（前年同期比11.2%減）、経常利益17億68百万円（前年同期比5.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益12億7百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

〔電機部門〕

電機部門では、半導体製造装置関連業界及び太陽光関連業界向けの電機品の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は128億30百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

〔電子部門〕

電子部門では、自動車関連業界、FA業界及びアミューズメント業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。精密機器業界向けの電子機器及び半導体製造装置関連業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は516億8百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

〔機械部門〕

機械部門では、半導体製造装置関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は49億41百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

太陽光関連業界向けの制御機器、自動車関連業界、FA業界及びアミューズメント業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。半導体製造装置関連業界向けの電機品及び電子部品の販売が減少いたしました。この結果、売上高536億95百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益9億62百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

② アジア

アジア地域では、OA機器業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。太陽光関連業界向けの電機品、FA業界向けの電子部品が減少いたしました。この結果、売上高218億27百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益4億25百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

③ 欧米

欧米では、自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。FA業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。この結果、売上高30億23百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益14百万円（前年同期比72.6%減）となりました。

④ その他

売上高は3億78百万円（前年同期比14.5%減）、営業利益20百万円（前年同期比69.5%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は、935億53百万円となり前連結会計年度末に比べ4億75百万円増加しました。現金及び預金の増加が主な要因であります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は、450億67百万円となり前連結会計年度末に比べ11億1百万円増加しました。支払手形及び買掛金の増加が主な要因であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、484億86百万円となり前連結会計年度末に比べ6億26百万円減少しました。為替換算調整勘定の減少が主な要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億15百万円増加し、242億85百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は36億18百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益（17億68百万円）、売上債権の減少（15億68百万円）、仕入債務の増加（15億92百万円）等による増加がある一方で、その他流動資産の増加（14億25百万円）、法人税等の支払（3億73百万円）等により一部減少したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は93百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（21百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は17億80百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減額（6億66百万円）、配当金の支払（10億62百万円）等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における連結業績につきまして、2025年5月9日に公表いたしました2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との間に差異が生じました。詳細につきましては、本日（2025年10月31日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

通期業績予想につきましては、2025年5月9日発表の内容から修正を行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,371	24,787
受取手形、売掛金及び契約資産	36,091	33,658
電子記録債権	7,965	7,884
商品	12,953	11,927
仕掛品	2	6
その他	2,617	4,094
貸倒引当金	△125	△133
流動資産合計	82,875	82,224
固定資産		
有形固定資産	2,192	2,292
無形固定資産		
のれん	—	647
その他	153	127
無形固定資産合計	153	774
投資その他の資産	7,857	8,262
固定資産合計	10,203	11,329
資産合計	93,078	93,553
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,686	19,276
電子記録債務	11,368	11,616
短期借入金	5,447	4,776
未払法人税等	406	587
引当金	—	33
その他	3,224	3,972
流動負債合計	39,133	40,262
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期末払金	51	51
役員退職慰労引当金	152	59
退職給付に係る負債	588	615
その他	1,040	1,077
固定負債合計	4,832	4,804
負債合計	43,966	45,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,618	3,643
利益剰余金	35,915	36,060
自己株式	△1,557	△1,475
株主資本合計	41,703	41,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,912	3,060
為替換算調整勘定	4,496	3,188
その他の包括利益累計額合計	7,409	6,248
非支配株主持分	—	283
純資産合計	49,112	48,486
負債純資産合計	93,078	93,553

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	69,426	69,380
売上原価	59,990	59,789
売上総利益	9,436	9,590
販売費及び一般管理費	7,786	8,125
営業利益	1,650	1,464
営業外収益		
受取利息	19	74
受取配当金	74	88
仕入割引	12	18
受取家賃	75	74
保険解約返戻金	—	84
その他	83	70
営業外収益合計	266	410
営業外費用		
支払利息	96	73
売上債権売却損	15	22
為替差損	113	1
その他	10	7
営業外費用合計	236	106
経常利益	1,681	1,768
特別利益		
投資有価証券売却益	167	—
特別利益合計	167	—
税金等調整前中間純利益	1,848	1,768
法人税等	576	561
中間純利益	1,271	1,207
親会社株主に帰属する中間純利益	1,271	1,207

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	1,271	1,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,011	147
為替換算調整勘定	1,969	△1,308
その他の包括利益合計	958	△1,160
中間包括利益	2,230	46
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,230	46
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,848	1,768
減価償却費	188	180
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	20
受取利息及び受取配当金	△94	△162
保険解約損益 (△は益)	—	△84
支払利息	96	73
為替差損益 (△は益)	△42	△16
投資有価証券売却損益 (△は益)	△167	—
売上債権の増減額 (△は増加)	5,115	1,568
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,010	599
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,115	1,592
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	371	△1,425
その他	272	△192
小計	6,467	3,923
利息及び配当金の受取額	77	141
利息の支払額	△96	△73
法人税等の支払額	△889	△373
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,559	3,618
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35	△21
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	185	—
保険積立金の解約による収入	—	165
その他	△47	△231
投資活動によるキャッシュ・フロー	95	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,351	△666
リース債務の返済による支出	△54	△50
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△755	△1,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,161	△1,780
現金及び現金同等物に係る換算差額	837	△690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,331	1,054
現金及び現金同等物の期首残高	18,597	22,869
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	361
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,929	24,285

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当中間連結会計期間において、株式会社エムテックの株式を取得したことにより、同社及び同社の完全子会社である株式会社アレックスエンジニアリングを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前中間純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	45,106	20,940	2,957	69,004	422	69,426	—	69,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,972	2,311	391	7,675	20	7,695	△7,695	—
計	50,079	23,251	3,349	76,679	442	77,122	△7,695	69,426
セグメント利益	1,029	509	54	1,593	11	1,605	45	1,650

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額45百万円には、セグメント間取引消去12百万円及び棚卸資産の調整額32百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,557	18,778	2,676	69,012	367	69,380	—	69,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,138	3,048	346	9,533	11	9,544	△9,544	—
計	53,695	21,827	3,023	78,545	378	78,924	△9,544	69,380
セグメント利益	962	425	14	1,403	20	1,423	41	1,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額41百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び棚卸資産の調整額25百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等に関する注記)

取得による企業結合

当社は、2025年7月24日開催の取締役会において、当社を株式交付親会社とし、株式会社エムテックを株式交付子会社とする株式交付（以下「本株式交付」といいます。）を行うことを決議し、2025年9月30日付の株式交付の実行により、株式会社エムテックは当社の子会社となりました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	株式会社エムテック
事業の内容	ロボットシステムの開発 自動化設備の設計・製造 コーティング技術の開発・製造

(2) 企業結合を行った主な理由

第12次中期経営計画「SUN-WA Growth Plan 2027 (SGP2027)」における成長戦略の一環として実施するものであり、「事業協調型の投資」に基づく具体的な取り組みです。本株式交付を通じて、内部成長（既存事業の深化）と外部成長（M&A等による事業拡大）の双方を有機的に連動させ、持続的な成長を目指します。

(3) 企業結合日

2025年9月30日

(4) 企業結合の法的形式

株式交付による株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

50.5%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が交付する株式を対価として株式会社エムテックの株式を取得したためです。

2. 株式の種類別の交付比率及びその算定方法並びに交付する株式数

(1) 株式の種類別の交付比率

株式会社エムテックの普通株式1株に対して、当社の普通株式3,266株を割当て交付します。

(2) 交付する株式数

329,866株

(3) 株式交付比率の算定方法

当社は、本株式交付に用いられる株式交付比率の検討に際し、その公平性・妥当性を確保するため当社のファイナンシャル・アドバイザー及び第三者算定機関としてASTRA FINANCIAL ADVISORS株式会社（以下「AFA」といいます。）を選定し、交付比率の妥当性を判断しました。当社は、当該算定結果を参考に、株式会社エムテックの資産・負債の状況、同社の現状・将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、慎重に検討を重ねた結果、上記（1）記載の交付比率がAFAが算定した株式交付比率レンジ内であり、当社の株主の利益を損ねるものではなく、妥当であるとの判断に至りました。

3. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、処理しております。

4. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	企業結合日に交付する当社普通株式の時価	876百万円
取得原価		876

5. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 54百万円

6. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

647百万円

(2) 発生原因

今後の事業活動によって期待される将来の超過収益力により発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

5年にわたる均等償却

7. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	376百万円
固定資産	316
資産合計	693
流動負債	112
固定負債	8
負債合計	121

3. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当中間連結会計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	44,164	113.4
アジア (百万円)	13,224	79.3
欧米 (百万円)	1,134	57.6
報告セグメント計 (百万円)	58,523	101.6
その他 (百万円)	243	80.1
合計 (百万円)	58,766	101.5

②受注状況

当中間連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	51,176	124.4	34,432	106.9
アジア	18,581	94.4	12,049	94.8
欧米	2,433	87.6	2,065	115.4
報告セグメント計	72,190	113.5	48,546	103.9
その他	491	114.9	448	181.2
合計	72,682	113.5	48,995	104.3

③販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	47,557	105.4
アジア (百万円)	18,778	89.7
欧米 (百万円)	2,676	90.5
報告セグメント計 (百万円)	69,012	100.0
その他 (百万円)	367	87.0
合計 (百万円)	69,380	99.9

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。